

## 寄贈図書リスト

宇宙生命論, 海部宣男, 星元紀, 丸山茂徳, 212頁,  
B5判, 3,200円+税, 東京大学出版会

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp) 宛。

なお, 原稿も必ず Faxで 0422-31-5487 までお送りください。

## 人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目に従ってご投稿ください。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

### 東京大学大学院理学系研究科天文学専攻教員

1. 助教1名
2. (1) 所属講座: 広域理学講座  
(2) 勤務地: 東京都文京区本郷7-3-1
3. 系外惑星科学および星惑星形成分野の天文学  
天文学専攻には, 観測的宇宙論, 銀河天文学, 高エネルギー天体物理学, 太陽恒星物理学, 星間物理学, 系外惑星科学等の研究を行っているグループ (理論および観測) があります (詳しくは, <http://www.astron.s.u-tokyo.ac.jp> をご覧ください)。これらのグループおよび理学系研究科附属天文学教育研究センターのグループとも協調しながら, 大学院および学部教育に熱意をもって取り組み, 世界第一線の研究をリードできる方を求めます。
4. 大学院修士課程修了, またはそれと同等以上の方。
5. 決定後本年度内なるべく早い時期
6. 当初4年, その後審査を経て延長の可能性あり。
7. (1) 履歴書, (2) これまでの研究教育業績の概要, (3) 研究業績目録および主要な原著論文3編の別刷もしくはコピー, (4) 今後の研究計画および教育への抱負, (5) 応募者に関する所見を

伺える方2名の氏名ならびに連絡先

8. 平成27年10月31日 (土) 必着
9. (1) 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1  
東京大学大学院理学系研究科天文学専攻事務室  
(2) 東京大学大学院理学系研究科天文学専攻長  
柴橋博資 Tel: 03-5841-4256  
e-mail: [shibahashi@astron.s.u-tokyo.ac.jp](mailto:shibahashi@astron.s.u-tokyo.ac.jp)
10. 応募書類の封筒表面には, 「人事応募書類」と朱書きのうえ, 簡易書留等, 配達記録の残る方法で送付してください。なお, 特に要望がない限り, 応募書類は返却いたしません。
11. 東京大学は, 男女共同参画を積極的に推進しています。詳しくは, 理学系研究科男女共同参画基本計画 <http://www.s.u-tokyo.ac.jp/gai/sankaku/kihonkeikaku.html> をご覧ください。

### 名古屋大学大学院理学研究科准教授

1. 准教授1名
2. (1) 素粒子宇宙物理学専攻宇宙物理学研究室 (U研) 赤外線グループ  
(2) 名古屋市
3. 実験・観測的赤外線天文学
4. 現スタッフと協力して, SPICAやTMTの装置開発や科学検討などに積極的に取り組み, 「あかり」などの観測データを用いた研究とバランスよく両立して, 学術的成果を上げていただける方を募集します。また, 南アフリカ望遠鏡IRSFの観測運用を支援していただける方を希望します (経験は問いません)。
5. (1) できるだけ早い時期  
(2) 任期なし
6. 博士の学位を有する者

7. (1) 履歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要), (3) 業績リスト, (4) 主要論文別刷 (3編以内), (5) 着任後の研究計画と教育に対する抱負, (6) 本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先
8. 平成27年11月20日(金) 必着
9. (1) 〒464-8602 名古屋市千種区不老町  
名古屋大学大学院理学研究科物理学教室  
主任 清水裕彦  
(2) 素粒子宇宙物理学専攻 金田英宏  
e-mail: kaneda@u.phys.nagoya-u.ac.jp,  
Tel: 052-789-2452
10. 封書に「赤外線天文学人事応募書類在中」と朱書し, 書留で送付. 応募書類は返却しない. 物理学教室の選考基準については  
<http://www.phys.nagoya-u.ac.jp/scholar/pub.html>を参照.

## 平成28年度国立天文台プロジェクト研究員 (年俸制職員特任研究員)

英語版は<http://www.nao.ac.jp/en/job-vacancy.html>をご参照ください (一部のプロジェクトのみ).

### (共通事項)

1. 年俸制職員特任研究員 募集人員は個別事項に記載
2. 今回募集を行うプロジェクト等およびその勤務地は個別事項をご覧ください.  
複数のプロジェクトへの併願は可能ですが, 希望する順を書いてください. 最終的にプロジェクト等から選考委員会へ推薦される候補者は, プロジェクト間で重複しないように調整されます.
3. 募集分野は個別事項に記載.
4. 勤務時間の半分までは, 所属するプロジェクト・センター等の長と相談のうえで, 所属プロジェクト等の業務を行う義務があります. 職務内容の詳細は個別事項に記載.
5. (1) 平成28年4月1日以降.  
(2) 原則として着任日より3年間ですが, 年度ごとに業績評価を受けていただくこととなります. ただし, 平成16年4月以降, 既に国立天文台研究員として勤務した期間がある場合, 任期は通算勤務期間が5年を超えないように設定されます. 再任は, 個別事項に述べられている場合を除き, 審査のうえ, 1回に限り可能です. ただし再任後の任期は半年以

- 上2年以下で, 通算勤務期間に関する上記の但し書きが同様に適用されます.
6. 博士の学位を取得した者または平成28年3月31日までに取得見込みの者.  
なお, 平成28年9月30日までに取得見込みの者は, その旨を記載のこと.
  7. (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 研究論文リスト (査読論文と, その他を区別し, 共著論文の場合は著者名をすべて明記すること), (4) 主要論文3編以内のPDFファイル, (5) 研究計画書, (6) 推薦書を頼む場合は, 推薦者の名前 (2名以内). 推薦書は推薦者が応募締め切りまでに提出先へ送ること. 個別事項に別の指定がある場合は, それに従うこと.
  8. 平成27年11月16日(月) 正午 (日本標準時) 必着 (個別事項に別の指定がある場合を除く)
  9. (1) 提出先メールアドレスと (2) 問合せ先は個別事項に記載.
  10. 応募書類が受理されると確認のメールを送るので, それが届かない場合は指定の問合せ先に連絡すること.
  11. 裁量労働制の常勤職員として月額給与35万円のほか, 通勤手当, 年間50万円の研究費が支給されます. 着任のための旅費・移転費も支給します. 米国ハワイ州外よりハワイ観測所 (ハワイ州ヒロ市) に着任する場合, またはチリ共和国外よりチリ観測所 (サンチャゴ市) に着任する場合は, 在勤手当が支給されます. 健康保険, 年金については文部科学省共済組合に加入していただきます. ボーナス, 退職金の支給はありません. 科学研究費助成事業への応募資格があります.
- 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し, 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており, 業績の評価において同等と認められた場合には, 女性を積極的に採用します. 詳しくは<http://open-info.nao.ac.jp/danjokuyodo/> をご覧ください.

### (個別事項)

メールアドレスの<AT>はアットマーク@に置き換えてください.

#### ○太陽観測所

1. 1名
2. (2) 東京都三鷹市
- 3, 4. 太陽観測所では, 三鷹キャンパスにおいて太陽フレア望遠鏡をはじめとする観測装置群により太陽の活動と磁場の継続的な観測を行っ

ており、それに基づいた太陽・太陽圏科学の研究を推進しています。研究員は自らのアイデアによる研究を推進する一方、装置運用、装置開発、データの解析と公開にも加わっていただきます。また地上太陽観測の将来計画の検討を行っており、積極的に加わる意欲のある人材を求めます。

9. (1) 応募書類、推薦書とも jinji<AT>solar.mtk.nao.ac.jpへメール添付で送付のこと。
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台太陽観測所長 花岡庸一郎  
Tel: 0422-34-3703  
e-mail: hanaoka<AT>solar.mtk.nao.ac.jp

○ひので科学プロジェクト

1. 1名
2. (2) 東京都三鷹市
- 3,4. ひので科学プロジェクトでは、太陽観測衛星「ひので」([http://hinode.nao.ac.jp/index\\_e.shtml](http://hinode.nao.ac.jp/index_e.shtml))を活用し、CLASP (Chromospheric Lyman-Alpha SpectroPolarimeter, <http://hinode.nao.ac.jp/CLASP/>) や IRIS (Interface Region Imaging Spectrograph) をはじめとする飛翔体また地上施設と共同した観測的研究、およびこれらに関連する理論的研究を通じて、飛翔体太陽物理学に積極的な貢献をする研究員を求めます。研究員には「ひので」の科学運用(観測)に参加していただきます。
9. (1) 応募書類推薦書とも watanabe.tetsuya<AT>nao.ac.jpへメール添付で送付のこと。
- (2) 〒181-858 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台 ひので科学プロジェクト長 渡邊鉄哉  
Tel: 0422-34-3714  
e-mail: watanabe.tetsuya<AT>nao.ac.jp

○SOLAR-C準備室

1. 1名
2. (2) 東京都三鷹市
- 3,4. SOLAR-C準備室では、宇宙科学研究所(ISAS/JAXA)と協力して、次期太陽観測衛星SOLAR-Cの実現を目指しています。以下の研究のいずれか(複数でも可)に積極的に参加する研究員を求めます。
- (1) 次期太陽観測衛星「SOLAR-C」(<http://www.nao.ac.jp/project/solar-c.html>)の実現に必要なとされる研究(想定される観測装置の開発研

究のほか、得られる観測データから磁場を導出するための基礎研究、得られる磁場情報からコロナ磁場の推定を行う手法の開発、観測データを解釈するために必要とされる数値モデル構築などの理論的研究を含む)

- (2) 観測ロケット搭載のChromospheric Lyman-Alpha Spectro-Polarimeter (CLASP; <http://hinode.nao.ac.jp/KakenS/study-CLASP.shtm>)の次期飛翔に向けた装置開発研究

また、「ひので科学プロジェクト」([http://hinode.nao.ac.jp/index\\_e.shtml](http://hinode.nao.ac.jp/index_e.shtml))との連携研究を進めるため、研究員には「ひので」の科学運用(観測)にも参加していただきます。

9. (1) 応募書類、推薦書とも hirohisa.hara<AT>nao.ac.jpへメール添付で送付のこと。
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台  
SOLAR-C準備室長 原弘久  
Tel: 0422-34-3705  
e-mail: hirohisa.hara<AT>nao.ac.jp

○天文シミュレーションプロジェクト

1. 1名
2. (2) 東京都三鷹市
3. シミュレーション天文学および関連分野
4. ・天文シミュレーションプロジェクト共同利用計算機の運用業務  
・共同利用計算機利用者への対応  
・共同利用計算機利用に関する講習会の開催  
・次期計算機システムの調達作業  
また、当プロジェクトの共同利用計算機を利用して積極的に自分の研究を推進していただける方を求めます。
9. (1) jinji2015<AT>cfca.nao.ac.jp  
応募書類、推薦書とも上記アドレスへメール添付で送付のこと。
- (2) 国立天文台天文シミュレーションプロジェクト 伊藤孝士  
e-mail: jinji2015<AT>cfca.nao.ac.jp  
Fax: 0422-34-3829  
(問い合わせを行う場合には「天文シミュレーションプロジェクト研究員応募の件」という旨を冒頭に明記すること)

○ハワイ観測所

1. 若干名
2. (2) 東京都三鷹市、ただし、ハワイ観測所(米国

ハワイ州ヒロ市) への出張による業務も年に数回ありうる。

- 3, 4. ハワイ観測所では、すばる望遠鏡による共同利用を実施し、多様な天文学研究を進めるとともに、新装置の開発や将来計画の検討を進めています。本プロジェクトでは、すばる望遠鏡を用いた観測的研究を積極的に進める研究員を募集します。研究員には、自身の研究と並んですばるによる共同利用に関する観測所の業務を担当していただきます。その主な内容は、三鷹リモート観測の支援、すばるデータアーカイブの運用支援、広報活動、各種講習会やユーザーズミーティングの世話人等です。加えて、ハワイ観測所スタッフとの共同研究も積極的に促進していただくことを期待します。研究計画書には、自身の研究計画とともにこれらの業務に対する抱負や貢献の可能性も記述してください。

9. (1) 応募書類、評価書とも fellow2015apply<AT>naoj.org へメール添付で送付のこと。  
メールサブジェクトにプロジェクト研究員応募と書いてください。
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台ハワイ観測所 水本好彦  
Tel: 0422-34-3514  
e-mail: mizumoto.y<AT>naoj.jp

#### ○TMT推進室

1. 若干名
2. (2) 東京都三鷹市、ただし、パサデナ、ハワイ観測所(米国ハワイ州ヒロ市) への出張による業務も年に数回ありうる。
- 3, 4. TMT推進室では、最大の科学的成果を生み出すために、補償光学を含めた観測装置の設計・製作、その性能を踏まえた観測計画の立案と既存の望遠鏡を用いた観測準備が重要であり、これを担うことのできる研究者を必要としています。研究員に期待する業務としては、(1) TMTの観測性能を詳細に評価し、観測計画立案ツールを開発する、(2) 第1期観測装置に特化したデータ解析ソフトウェアおよびデータアーカイブシステムを立案し、実際にプロトタイプ化する、(3) 第2期観測装置の設計・開発検討、などが挙げられます。いずれも観測装置の設計の進展にあわせて常に更新を行うとともに、コミュニティ・大学関係者とも連携を取りながら多様な観測研究

のアイデアに対応していく必要があり、柔軟な発想のもとに遂行できる若手研究者を期待しています。またTMT推進室の運営の一部として、各種会合・研究会の支援、ウェブなどの計算機サーバーの運用支援、広報活動への参加などを担ってまいります。研究計画書には、自身の研究計画とともにこれらの業務に対する抱負や貢献の可能性も記述してください。

9. (1) 応募書類、評価書とも fellow2015apply<AT>naoj.jp へメール添付で送付のこと。  
メールサブジェクトにプロジェクト研究員応募と書いてください。
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台 TMT推進室 白田知史  
Tel: 0422-34-3522  
e-mail: usuda<AT>naoj.org

#### ○太陽系外惑星探査プロジェクト室

1. 1名
2. (2) 東京都三鷹市
- 3, 4. 太陽系外惑星および星・惑星形成の観測的研究、とりわけ、地上・スペース観測のための観測装置開発やミッション、および、それらによるサイエンスの検討・推進に参加する若手研究者を期待しています。本プロジェクト室の現在の具体的な研究テーマは、(1) すばる望遠鏡のための系外惑星赤外線分光器IRDや赤外面分光器CHARISの開発、(2) TMTのための系外惑星観測装置SEITの開発、(3) 系外惑星スペースミッションの開発・推進です。公募中の研究員の方には、IRDの装置調整、および、それを用いた観測・研究推進にも参加して頂く予定です。勤務地は三鷹ですが、現地調整・観測等のためのハワイ観測所等への出張があります。
9. (1) 応募書類は motohide.tamura<AT>naoj.jp へメール添付で送付のこと。件名は「系外惑星プロジェクト研究員(応募)」をお願いします。
- (2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台太陽系外惑星探査プロジェクト室  
Tel: 0422-34-3513  
e-mail: motohide.tamura<AT>naoj.jp  
件名は「系外惑星プロジェクト研究員(質問)」をお願いします。

○チリ観測所

1. 4名 (ALMA 2名, ASTE 2名)
2. (2) 東京都三鷹市 (ただしチリ, 欧州, 北米, 台湾等に出張の可能性があります)
- 3, 4. ALMAでは現在4回目の共同利用 (サイクル3) の科学運用が行われています. ALMAやチリ観測所が運用しているASTE望遠鏡を用いた研究を推進していただくために, 研究員を募集します. 研究員には勤務時間の50%を用いて, ALMAやASTEなどの観測データ (アーカイブを含む) を用いて自身の研究を推進していただきます. チリ観測所内外の研究者との共同研究を含む積極的な研究提案を歓迎します. 勤務時間の残り50%では, ALMAまたはASTEの運用やユーザーサポートに関する以下の業務から一つ以上に寄与していただきます.
  - ・ALMA: ALMA共同利用支援 (干渉計データリダクション等), ALMAに関する開発 (装置, ソフトウエア)
  - ・ASTE: ASTE科学運用支援, ASTEに関する開発 (装置, ソフトウエア)
7. 応募書類は英文で書いてください. 研究計画書には, 自身の研究の計画と業務にあたっての計画と抱負を書いてください. 業務についてはALMA担当とASTE担当のどちらに応募するか, 両方に応募する場合はどちらを優先するかも明記してください. 推薦者2名に締切日までに推薦書を送付するよう依頼してください.
9. (1) 応募書類, 推薦書とも `alma-postdoc-application<AT>alma.mtk.nao.ac.jp` へメール添付で送付のこと. メールサブジェクトに「プロジェクト研究員応募 (または推薦書)」と明記してください.  
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台チリ観測所 伊王野大介  
e-mail: `d.iono<AT>nao.ac.jp`

○天文データセンター

1. 2名
2. (2) 東京都三鷹市
- 3, 4. 応募に当たっては, 以下の二つの分野のうち希望分野を明記してください. 両方に応募する場合は, それぞれの希望分野ごとに応募書類を提出してください.  
(a) 天文データセンターでは光赤外線望遠鏡の観測生データを公開するデータサービスで

あるSMOKA (<http://smoka.nao.ac.jp/>) を運用し, すばる望遠鏡や岡山天体物理観測所188 cm望遠鏡, 東京大学木曾観測所シュミット望遠鏡, 東京工業大学MITSuME望遠鏡群, 広島大学東広島天文台かなた望遠鏡の観測データを公開して天文学研究や教育活動を推進しています. SMOKAの効率的運用を進めるとともに, データの品質評価や校正に積極的に取り組み, 自らもそのデータを活用した天文学研究を進める意欲をもった若手研究者を求めます. また, 2018年3月に稼働が予定される新計算機システムに向けてSMOKAのさらなる機能強化や効率化を目指す検討や開発にも携わっていただきます.

(b) 天文データセンター (ADC) では, 国際連携の下, 高速ネットワークに接続された国内外に存在する天文データベースおよびデータ解析サービス等へのアクセスを天文学コミュニティに提供する日本版ヴァーチャル天文台 (Japanese Virtual Observatory) プロジェクト (<http://jvo.nao.ac.jp/>) を進めています. ヴァーチャル天文台を用いた論文は世界で1,000報以上出版されています. 本公募では, さらなるデータベース天文学の普及につながるようなVO普及活動, JVOシステムの機能をさらに向上するためのソフトウェア開発, すばる処理済みデータの作成, あるいは, 同システムも用いた天文学研究に積極的に取り組む意欲をもった若手研究者を求めます.

9. (1) 応募書類, 推薦書とも `adc-chief<AT>nao.ac.jp` へメール添付で送付のこと.  
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台・天文データセンターセンター長 大石雅寿  
Tel: 0422-34-3575  
e-mail: `masatoshi.ohishi<AT>nao.ac.jp`

○先端技術センター

1. 1名
2. (2) 東京都三鷹市
- 3, 4. 先端技術センターでは, 主に可視光・赤外線天文学・電波天文学分野・重力波分野での開発研究を行っています. 先端技術センターで現在実施されているプロジェクトのみならず, 将来必須となる基礎技術の開発研究を行う研究員を, 以下の分野で募集します. なお, 開発的研究のみならず, それと関連する観測的

研究を合わせて行うことも可能です。

(1) 電波カメラの開発

宇宙マイクロ波背景放射やミリ波-テラヘルツ帯の広視野高感度の超伝導電波カメラの研究開発、広帯域の光子計数型検出器やこれを用いた干渉技術の研究開発を行っています。超伝導デバイスなどの要素技術や極低温回路を含む検出器システムの開発などに取り組む若手研究者を募集します。

(2) 可視光・赤外線観測装置の開発

すばる望遠鏡や30m望遠鏡(TMT)に搭載する観測装置、補償光学系や可視光・赤外線検出器などの研究・開発に取り組む若手研究者を募集します。

9. (1) 応募書類、推薦書ともTakashi.Noguchi<AT>nao.ac.jpへメール添付で送付のこと。

(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1  
国立天文台先端技術センター長 野口卓  
Tel: 0422-34-3908  
e-mail: Takashi.Noguchi<AT>nao.ac.jp

(3) 業績リスト(論文リスト, 研究発表リスト等), および主要論文別刷(5編以内). 提出する論文については論文リストに印を付け, 一目でわかるようにすること.

(4) 着任可能時期

(5) 着任後の研究計画(A4判で3頁以内)

(6) 意見書または推薦書2通

8. 平成27年11月30日(月)17時必着

9. (1) e-mail: application\_at\_icrr.u-tokyo.ac.jp  
(メールを送信する際は\_at\_を@に直してください)

(2) 東京大学宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設長 中畑雅行

Tel: (0578)-85-9603

e-mail: nakahata\_at\_suketto.icrr.u-tokyo.ac.jp  
(メールを送信する際は\_at\_を@に直してください)

10. 応募書類の提出に対しては, 受信した旨の返信をいたしますので, 必ず当方からの返信の有無を確認してください.

11. 選考委員会による書類選考(第一次審査)を行い, 最終選考は, 面接によります. 面接を受けていただく方には詳細を連絡します.

「東京大学男女共同参画加速のための宣言」に基づき, 女性の応募を歓迎します.

## 東京大学宇宙線研究所助教

1. 助教・1名

2. (1) 附属神岡宇宙素粒子研究施設

(2) 岐阜県飛騨市

3, 4. 神岡宇宙素粒子研究施設に所属し, スーパーカミオカンデ, T2Kによる研究, スーパーカミオカンデの維持運転およびガドリニウムを用いた装置の高度化を行う. また, 施設が推進する他の研究(ハイパーカミオカンデの準備研究, 暗黒物質直接探索実験等)にも参加できる. これまでの研究分野を問わない.

5. (1) 決定後なるべく早い時期

(2) 5年, 再任可(ただし1回限り)

6. 博士号を取得している者

7. 応募者は以下の(1)から(5)までの書類を, e-mailに添付(電子ファイル)で提出してください. (6)の意見書・推薦書は, 作成者から直接e-mailに添付で応募締切日までに提出してください. 応募書類・意見書・推薦書のファイル形式はpdfとします. e-mailによる提出に対しては, 受信した旨の返信をしますので, 必ず当方からの返信の有無を確認してください.

(1) 履歴書

(2) 研究歴(A4判で3頁以内)

## 人事公募結果

1. 掲載号

2. 結果(前所属)

3. 着任時期

## 大阪大学・大学院理学研究科・助教

1. 2015年5月(第108巻第5号)

2. 分野A: 宇宙物理学(理論)

富田賢吾(プリンストン大 PD)

分野B: 赤外線天文学

松尾太郎(京都大 特定准教授)

3. 2015年10月1日

**賞の推薦**

**山田科学振興財団 2016 年度研究援助候補  
推薦依頼**

山田科学振興財団より本会宛に、下記内容の2016年度研究援助候補の推薦依頼がありましたのでお知らせいたします。推薦書は学会推薦となっておりますので2016年1月27日(水)までに日本天文学会宛(jimu@asj.or.jp)に添付ファイルとして提出してください。

1. 研究援助趣旨
  - 1) 萌芽的・独創的研究
  - 2) 新規研究グループで実施される研究
  - 3) 学際性、国際性の観点からみて優れた研究
  - 4) 国際協力研究

2. 援助対象期間

2016年9月～2018年3月

★2016年度研究援助候補推薦要項・推薦書用紙は

下記ホームページからダウンロードしてください。

山田科学振興財団 <http://www.yamadazaidan.jp/>

**「宇宙科学奨励賞」候補者推薦依頼**

2015年度の第8回宇宙科学奨励賞候補者のご推薦を募集いたします。推薦要綱の詳細は当財団のホームページ(<http://www.spss.or.jp>)に掲示しておりますが、当奨励賞の概要は以下の通りです。皆様の周りで優れた業績を挙げ将来の活躍が期待される若手研究者をご存知の際には、是非ともご推薦いただきますようお願い申し上げます。

表彰の趣旨：宇宙理学（地上観測を除く）分野及び宇宙工学分野で独創的な研究を行い、宇宙科学の進展に寄与する優れた研究業績をあげた若手研究者個人を顕彰する。

授与機関：公益財団法人 宇宙科学振興会候補者：上記分野で優れた業績をあげた当該年度の4月1日現在37歳以下の若手研究者個人。候補者の推薦は他薦に限る。

業績の審査：業績の審査は、推薦理由となる研究業績に関連して発表された論文に基づいて、当財団が設置する選考委員会において行う。

賞の内容：授賞は原則として毎年宇宙理学関係1名、宇宙工学関係1名とする（ただし適格者のいない場合は受賞者なしとする場合がある）。受賞者には本賞（賞状と表彰楯）および副賞（賞金30万円）が贈られる。

推薦締切日：2015年10月31日(土) 必着。

表彰式：選考結果は2016年1月に推薦者と受賞者に通知するとともに、当財団ホームページにおいて発表する。その後2016年3月に表彰式を行い、受賞者には受賞対象となった研究に関する講演をして頂く。なお、推薦の手続きの詳細については財団のホームページ(<http://www.spss.or.jp>)をご覧ください。推薦書式をダウンロードして必要事項を記載の上、(1) 候補者の略歴、(2) 論文リスト、および(3) 推薦の対象となる論文の別刷等必要書類を添付の上、電子メールにてご投稿下さい。

お問い合わせ先および推薦書送付先：

〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1  
公益財団法人宇宙科学振興会 事務局  
e-mail: [admin@spss.or.jp](mailto:admin@spss.or.jp)

天文月報オンライン/投稿用アップローダーのIDとパスワード

ID: asj 2005

パスワード：雑誌コード（5桁の数字と）vol98（5文字）の計10文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

青木和光（編集長）、上野悟、大栗真宗、奥村真一郎、富永望、萩原喜昭、馬場彩、平松正顕、町田正博、諸隈智貴、吉田二美

平成27年10月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-8-8 株式会社 国際文献社

定価720円(本体667円) 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359 (事務所) / 0422-31-5488 (月報) Fax: 0422-31-5487 振替口座00160-1-13595

日本天文学会のウェブサイト <http://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2015年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）